

第2回香美市木材住宅支援事業委員会会議録

令和2年2月21日（金）午後1時30分～2時45分

香美市役所4階401会議室

出席委員：尾田安広、三谷幸寛、川村晴夫、佐竹教人（企画財政課長）、
中山繁美（定住推進課長）、岡林良浩（建設課岡林班長）、

欠席委員：宗石高広、野村俊博
事務局（澤田修一農林課参事、西本恭久農林課長、北川ゆかり係長）

（進行：委員長）

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 議題

① 令和元年度補助金の申請状況について

現時点で25件20,097,000円、他に予約4件、3,900,000円

事業期間第1期（5年間）の最終予定 100件 97,846,000円

② 来年度からの取り組みについて

令和2年4月から令和7年3月までの5年間を第2期

令和2年度の予算要求額は、2,500万円

県の補助金の提出資料である木材納材及び合法材証明の写しを提出願う。

市の市産材納材証明書の様式を県の様式に寄せて改定する。

交付要綱と委員会設置要綱の一部改訂を行う。

定住推進課から依頼を受けた同意書の提出を依頼する。

県の補助金終了の場合に市単独での補助金受付・審査の実施は見送る。

4. その他

第2期の委員会の委員構成は、現状の委員8名に、製材関係者を1名追加する。

参考資料の配布

香美市木材住宅支援事業に関する調査報告（香美市未来の森づくり委員会資料）

5. 時期委員会開催日

令和2年11月開催を予定。

発言者	内容（要約）
委員長	（委員長あいさつ）

発言者	内容（要約）
事務局	<p>（① 令和元年度補助金の申請状況について）</p> <p>前回の委員会で、県の補助金受付がストップした報告をしたが、12月上旬に再開され、その後数日で数十件の申し込みがあり、再び予算上限に到達して受付が終了した。香美市へも、一斉に申し込みがあった。本日段階で、申請者は9件増えて25件に、交付決定額は、7,247,000円増えて、20,097,000円となりました。</p> <p>また、未申請の予約申込者が4件で、最終の交付予定は29件の24,997,000円です。資料1の25番目から下の4件が予約者の申請予定内容です。</p> <p>予約を含む申請のうち、市内在住者が17名、市外からの申し込みが12名です。</p> <p>施工業者の内訳は、市内事業者が8件、市外事業者21件です。市外事業者のうち市内製材所を利用するのは、7件となります。</p> <p>なお、申請予定者を含む推定数ではありますが、5年間の総数が出ましたので、資料2-1と2-2を作成しました。</p> <p>資料2-1は、申請者の申請時住所と建築後住所に着目したものです。移住者の動向や、旧市町村単位での建築数を見て取ることができます。</p> <p>資料2-2は、工務店と製材所の市内か市外かの別に着目したグラフです。申請数の推移と、交付金額でみる市内事業者と市外事業者の割合を見ることができると思っています。参考資料としてご覧ください。</p>
委員	<p>建設課で受付した建築確認ですが、平成30年度の受付数は住居系83件その他9件の併せて92件でした。本年度1月末現在の数は、住居系79件その他14件の93件となっています。内訳としては、市街化区域への市内からの申請が31件、市外の方からの申請が23件の計54件、調整区域へは市内の方は14件、市外の方が11件の計25件です。</p>
委員	<p>山田の数だけですか。</p>
委員	<p>香北と物部は届の必要がないので含まれていません。古民家の改修も届が来ている。</p> <p>今後は土砂災害危険個所での取り扱いが変更になる（エリア内で新築する場合は擁壁等の整備が必要になる等、詳細は不明）ため、香北・物部も建築確認が必要になることも予想されます。</p>
委員長	<p>質問がなければ、次の議題に移ります。事務局お願いします。</p>
発言者	内容（要約）
事務局	<p>（② 来年度からの取り組みについて）</p> <p>平成27年度にスタートしたこの事業がこの3月末で満5年となりますので、第1期事業期間が終了します。</p> <p>引き続き令和2年4月から5年間の第2期をスタートし、令和2年度の当初予算には、2,500万円を予算計上しています。</p> <p>事業の内容は、ほぼ同じ内容を予定していますが、一部、見直しを行いたいと思いますので、委員の皆様のご意見をいただきたいと思います。</p> <p>まず、資料5-1、5-2をご覧ください。</p> <p>県の補助金を申請する際に添付することを求められる木材の納材及び合法材を証明する書類です。</p> <p>この資料は、資料4-1、4-2で香美市に提出していただく木材納材証明書の裏付け資料となりますし、現在香美市未来の森づくり委員会で木材の流れを調査検討している事業の参考となる資料になります。</p> <p>そこで、資料5-1と5-2を資料3の実績報告書の添付資料として定め、高知県に申請した資料の写しを提出してもらいたいと考えています。</p>

	ご意見をお聞かせください。
委員長	正直、様式が違うので作成する方の負担は大きい。できるだけ県の様式と合わせてもらいたい。
事務局	県の様式を基本として、市が指定する基本部位とその他部位の項目を加筆した内容で検討したいと思いますが、よろしいでしょうか。
委員	全員承諾
事務局	ありがとうございました。 それでは、委員の皆様のご了承をいただきましたので、これらの変更内容を交付要綱と委員会設置要綱に反映して、4月までに変更の手続きを進めていきたいと思っております。
	なお、前回の委員会で説明のありました定住推進課からの情報共有については、資料6の内容で予約申込時にお問い合わせの方法を予定しています。こちらは、強制力を持たせないということでしたので、要綱へは盛り込まずご協力をお願いという形で行う予定です。定住推進課の方でもその形よろしいでしょうか。
委員	問題ありません。
事務局	次に、前回の委員会でも話題となりました県の補助金が終了した場合に市が単独での受付・審査ができる体制の検討については、市の財政サイドとの協議の結果、見送りとなりましたのでご報告いたします。
委員	県の補助金の来年度はどうなっていますか。
事務局	県も議会承認前のことですので、確定した内容ではないと思いますが、来年度も例年通りの予算要求を行っているというお話でした。
発言者	内容（要約）
委員長	【その他】 では、その他の項目に移ります。 委員の方から何かございますか。
委員	特にありません。
委員長	事務局からはどうですか。
事務局	次に、第2期目を迎えるにあたって、前回お願いしました委員の継続について改めてお願いいたします。 なお、製材・大工の関係者を新たに委員にお迎えする話については、物部の北村製材の北村さまにお願いしようと考えています。北村さまには昨日ご内諾をいただきましたが、いかがでしょうか。
委員	異議なし。
事務局	また、大工関係者からの委員への追加はいかがいたしましょう。

委員	以前に、大工さんから話を聞いたことがありましたよね。
委員	参考になる話がいろいろ聞いたことを覚えています。
委員長	委員に迎えるという形ではなく、また、別途お話を聞く場を設けて、オブザーバとして会議に参加していただく形でよいのではないか。
委員	(一同同意)
事務局	では、そのような形をとらせていただき、今回新たに追加する委員は北村さまのみということで進めてまいります。
事務局	関連する内容なので、こちらの資料をご覧ください。香美市未来の森づくり委員会の資料ですが、木材住宅支援事業に関する調査報告になります。製材の方や大工・工務店の意見も記載されています。ただ、一部、個人や企業が特定されてしまう内容は空欄とさせていただきますのでご了解ください。
委員長	高知大学の学生の方が調査されていた分ですよね。うちにも調査に来ていました。
事務局	そうです。
委員	うちへも来ていました。
事務局	そうです。大変お世話になりました。
発言者	内容 (要約)
委員長	他になければ、以上で閉会とします。
事務局	ありがとうございました。次期委員会は、11月ごろを予定します。事前に日程調整をさせていただき、ご案内をさせていただきます。 (閉会)